

言語活動の充実に関する実践事例

学校名（東広島市立豊栄中学校）

- ① 教科等 社会科 ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 「第一次世界大戦とアジア・日本」
- ④ 本時の目標
 - ・資料から列強の利害関係や民族の対立を読み取ることができる。
 - ・第一次世界大戦の原因や経過・結果などから、特色について考察し、どのような戦争であったか表現することができる。
- ⑤ 学習の流れ（1時間目／全6時間）

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 〔評価方法〕
1 日清・日露戦争の復習をし、本時の学習課題を確認する。		
第一次世界大戦は、どのような戦争だったのだろうか？		
2 第一次世界大戦の背景を調べる。 ○バルカン半島が「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれていた理由を考える。 ○大戦前の国際関係を調べてプリントに記入し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の遠因となる、列強の利害や民族・宗教の対立を理解させる。 ・教科書や資料集を十分に活用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図から列強の利害関係を読み取っている。〔資料活用の技能〕（ワークシート・発言）
3 第一次世界大戦の原因や経過と結果を調べ、発表する。 ○第一次世界大戦の原因や経過・結果については、各個人で調べ、ワークシートに記入する。 ○第一次世界大戦がどのような戦争であったかを各グループで話し合い、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集を示しながら、いくつかのキーワード（開戦理由・参戦国数・期間・戦費・兵器など）をもとにアドバイスする。 ・これまで学習してきた戦争と比較させ、違いに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の原因や経過・結果などから、特色について考察し、どのような戦争であったかを表現している。〔社会的な思考・判断・表現〕（ワークシート・発言）
4 本時の学習を振り返り、まとめをする。	<p>第一次世界大戦は、これまでの戦争と異なり、同盟で結ばれた複数の列強が中心となり、世界の多くの国を巻き込んで長期間にわたる総力戦であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードに記入する。 分かったこと、疑問に思ったこと、感想を記入させる。 	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 第一次世界大戦の原因を国際関係の地図資料などから探り、戦争の経過や結果をまとめる中で、第一次世界大戦の特色を日清・日露戦争と比較しながら説明することができる。

言語活動の充実のための工夫

- 資料を読み取る力を付けるために、さまざまな資料を準備し、ワークシートを活用させる。
- 思考を深めるためのキーワードを示す。
- 表現力を身に付けさせるためにフォーマットを準備する。